

2014年度 前期		リフレクションペーパー						
学科名	建築・デザイン学科							
科目名	建築設備の計画							
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	3年前期			
必修・選択の別	選択科目(建築工学コース、建築コース)							
担当者	斎藤健二							
授業の到達目標(シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・建築設備工学の基礎的応用知識を理解し、説明できる。(C3) ・建物の快適室内環境を実現するための基礎的応用技術を理解し、説明できる。(C3) ・建築設備の計画手法と設計手法を理解し、説明できる。(C3) 							
日程と内容	4/7 授業概要の説明、評価基準の説明 4/14 空調設備の計画 4/21 空調負荷計算 4/28 空調負荷計算 5/12 空気線図 5/19 空気線図・演習1 5/26 熱源機械、冷凍機の原理 6/2 空調機器 6/9 配管システム、配管方式 6/16 配管抵抗、ポンプの揚程 6/23 ダクトの設計 6/30 ダクトの設計、ダクトの抵抗、ダクトサイズの求め方 7/7 換気設備、地域冷暖房 7/14 演習2、授業評価アンケート 7/21 定期試験(60分) 7/28 定期試験の解説							
成績評価基準	定期試験	70%	実技	0%	臨時試験	0%	部外評価	0%
	報告書・レポート	0%	プレゼンテーション	0%	課題	0%		
	演習	30%	計	100%				
授業到達目標の達成度	<ul style="list-style-type: none"> ・建築設備工学の基礎的応用知識を理解し、説明できる。:達成した。 ・建物の快適室内環境を実現するための基礎的応用技術を理解し、説明できる。:達成した。 ・建築設備の計画手法と設計手法を理解し、説明できる。:達成した。 							
反省点	昨年とほぼ同じ内容の定期試験であったが合格率、平均点共に低下した。演習問題の解答が未提出の学生、定期試験の出来が悪い学生が不合格となっている。演習問題解答の提出を徹底したい。							
来年度の計画	空気線図など「建築設備の基礎」で教えている内容と重複している部分があるので来年度からは割愛し、省エネルギーに関する分野を多く取り入れたい。							
授業評価アンケートに対するコメント	学生が関心を持つように写真等を多く用いた授業を心がけているが、なかなか授業評価の向上に結び付いていない。質問時間を設けても全然質問が出ないのが現状である。予習、復習をほとんどしないなど、学生自身の勉強態度も改めてほしい。							
履修登録者数	55名	定期試験受験者数	52名	合格者数	41名	合格率	79%	